

占冠中が北大と遠隔授業



2月23日に、占冠中学校で、教科として初めてテレビ会議システムを使用した遠隔授業が行われました。遠隔授業は、占冠中1・2年生14人が北大大学院環境科学の山中康裕教授（環境科学）による「雪の結晶の作り方」を学びました。

山中教授は、札幌などで採取した雪の結晶を写真で紹介したり、気温や水分の量などの違いによって作られる結晶が違うことなどを説明しました。

村の 出来事

2月～3月

村内の出来事、話題
をお届けします

中央小授業で職業体験 いらっしゃいませ

2月26日に、占冠中央小学校6年生の授業で、職業体験学習が行われました。道の駅内「八百蔵カフェ」で、パンやコーヒーなどの販売を体験しました。

パン屋さんになりたいと夢を抱く馬瀬戸恵梨香さんは、パンをどのように作るのか、パン屋さんをやるのに大切なことなどを質問し、ノートに書きとめていました。レジを前に、慎重にお金を受け取り、コーヒーなどの商品をお客様に笑顔で手渡していました。



北海道スノトラベルエキスポ2018 トマムリゾートで開催

2月27日に、海外の旅行業関係者を招き、スキーなど冬の北海道観光を売り込む「北海道スノトラベルエキスポ2018」の開会式が星野リゾートトマムで行われました。北海道運輸局などでつくる実行委員会の主催で7回目となる今年は、海外16カ国・地域から旅行業や報道の関係者46人が参加しました。

28日には、同リゾート内でホテルやリゾート関連会社など43社・団体と参加者による商談会が行われ、同日夜には参加者のほとんどが湯の沢温泉を訪れ、和食を味わいながら交流し、占冠神楽を鑑賞しました。



各機関との連携協定を結びました

旭川信金と



3月1日、旭川信用金庫富良野支店にて、中富良野町とともに旭川信用金庫との包括連携に関する協定の調印式を行いました。旭川信用金庫は、村の指定金融機関として、地域の商工業の振興において重要な役割を担っています。

また、3月6日には占冠郵便局と包括的連携に関する協定を締結し、3月16日には北海道銀行と包括連携協定の締結式を行いました。

これらの協定のもと、金融面だけでなく、地方創生、災害時における協力支援など、より幅広い面において連携協力を行っていきます。

占冠郵便局と



北海道銀行と



占冠村"メープルの森" 体験ツアー2018



木の一部にチューブを取り付けて採取するチューブシステム

3月17日に、メープルの森体験ツアーが行われ、30名が参加しました。

体験ツアーでは、メープル樹液採取体験や製造見学、楓の木のコースター作りが行われました。昼食ではメープルシロップを使ったエゾシカ肉キーマカレーやバームクーヘンなどを味わいました。

参加者は、メープルシロップの試食と小瓶のお土産も受け取り、メープルづくしの体験ツアーを存分に楽しみました。

雨降りの中で 村民スキー大会



3月4日に、村民スキー大会が国設占冠中央スキー場で行われ、幼児から大人まで34名が参加しました。

あいにくの雨の中での競技となりましたが、参加者は精いっぱい滑りました。その後チューブカーリングも行われ、入賞者にはお米券が手渡されました。

大会終了後は、おいしい手作り豚汁を味わい、冷えた体を温めました。